

Astemo SI Racing with Thai Honda PRESS RELEASE
アジアロードレース選手権(ARRC)

アジアロードレース選手権 (ARRC)
第6戦タイ
チャンインターナショナルサーキット
2023年12月2日 (土) 公式予選・レース1
3日 (日) レース2

2回目の代役参戦となった作本輝介が6位/5位で最終戦を終える

アジアロードレース選手権 (ARRC) 最終戦がタイ・チャンインターナショナルサーキットで12月2日・3日に開催された。今回は、レギュラーライダーであるパサウィット・ティティワラックが復帰予定となっていたが、レースウィーク直前のアクシデントで再び負傷してしまい、前回の中国ラウンドに引き続き作本輝介が代役としてASB1000クラスに参戦した。

作本は、もちろんチャンインターナショナルサーキットを走るのは初めて。金曜日のフリープラクティスは、1本目で1分38秒568をマークすると2本目は1分38秒391、3本目では一気に1分37秒251までタイムアップし7番手につけていた。

土曜日の公式予選では、セッション序盤に1分36秒382を記録。セッション終盤に、さらにタイムアップを狙っていくが5コーナーで転倒を喫してしまう。幸いケガはなくチームはマシンを素早く修復し、レース1のグリッドに向かうことができていた。

13周で争われたレース1。作本は、7番手グリッドから好スタートを決め1コーナーで5番手に浮上。そのままトップグループを追っていくが徐々に離されてしまう。ちょうどレースも折り返しというところで4コーナーでコースアウトしてしまい6番手に降順。何とか5番手のライダーに追いつきチャンスを伺うが、僅かに届かず6位でチェッカーフラッグを受けた。

レース2では6番手で1コーナーに入っていくと序盤はトップグループの後方につけ周回を重ねていく。2周目の3コーナーでは、ブレーキングで國井選手をかわして5番手に浮上。3周目には3番手を走っていたアズラン選手が3コーナーでコースアウトしたため4番手に上がっていた。レース中盤からトップグループから遅れ始め、後方からはペースを上げてきたアズラン選手が追いついてくると6周目にかわされてしまい5番手にポジションダウン。レース終盤には約2秒差で追っていたが、残り2周でアクシデントがあり赤旗中断。そのままレース成立となり作本は5位となった。



Honda Dream



Astemo

KEIHIN SHOWA NISSIN

SIR

Astemo SI Racing with Thai Honda PRESS RELEASE
アジアロードレース選手権(ARRC)

アジアロードレース選手権 (ARRC)
第6戦タイ
チャンインターナショナルサーキット
2023年12月2日 (土) 公式予選・レース1
3日 (日) レース2

伊藤真一 チーム監督

Shinichi Ito Team Director

「ARRC最終ラウンドでは、バサウィットが復帰予定でしたし、本人もレースを楽しみにしていましたが直前に再び負傷してしまったため、急きよ作本を起用しました。前戦の中国ラウンドでの経験を活かし、予選での転倒はありましたが、決勝では、しっかり結果を残してくれました。初めてチャンインターナショナルサーキットを走る作本にバサウィットがアドバイスし、チーフメカニックのスッパラクがマシンをいい方向に導いてくれました。2023年は、ARRC参戦2年目となるので表彰台の常連なることを目指していましたが、バサウィットのケガもあり、目標を達成することはできませんでしたが、チームは常に一丸となって戦うことができたことは誇りに思います。2023年全日本ロードレース、ARRCの全てのレースが終了しました。Astemo様、タイホンダ様を始め、チームをバックアップしてくださった全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました」

#17

作本輝介

Kosuke Sakumoto

公式予選：7番手 (1分37秒251)

レース1：6位 レース2：5位

「金曜日に初めて走り始めコースを攻略しながらセットアップを進めていきました。思うようにタイムを縮めることはできませんでしたが、マシンの状態はよくなっていました。予選では、最後にアタックしている最中に転倒してしまいチームに迷惑をかけてしまいました。素早く修復してくださったので、問題なくレース1を走ることができました。レース1のデータをもとにアジャストしたセットもいい方向にいき、レース2では、途中までトップグループについていくことができましたが、中盤以降離されてしまいました。両レースとも決して満足いく結果ではありませんでしたが、初めてのコースを戦うにあたって、自分自身に足りないものがハッキリしてきたので、改善していきたいと思っています。最後に、今回のARRC参戦のチャンスをくださったチーム、スポンサー、全ての関係者にお礼申し上げます」



Honda Dream

 P-UP World



 Usuki Transport

 idemitsu





 DEGREE



 TONE

 NGK
SPARK PLUGS

 RK
TAKASAGO CHAIN









